

## 単位面積当たりの放水量 (抜粋)

単位面積当たりの放水量

法規	目的	放水量	放水時間
消防法	準危険物・特殊可燃物の火災 自動車の車庫・駐車場の火災	10L/min・㎡以上 20 "	20分間以上
損害保険料率算定会	消火 火勢の制圧 延焼の防止	30L/min・㎡以上 20 " 10 "	90分間以上
コンビナート等保安規則	特殊反応設備 (断熱機被覆なし) の防火 " ( " あり) の防火 その他の設備 (断熱機被覆なし) の防火 " ( " あり) の防火	7 L/min・㎡以上 3.5 " 5 " 2.5 "	
一般高圧ガス保安規則及び液化石油ガス保安規則	可燃性ガス貯槽が接近している場合の冷却 貯槽間距離が1m以下又は貯槽の最大直径の1/4以下 但し保冷のため断熱材使用のとき (耐火構造) " (準耐火構造) 貯槽間距離がそれぞれの最大直径の和の1/4以下 但し保冷のため断熱材使用のとき (耐火構造) " (準耐火構造) 液化ガスの貯蔵の温度上昇防止 但し保冷のため断熱材使用のとき (準耐火構造)	8 L/min・㎡以上 4 " 6.5 " 7 " 2 " 4.5 " 5 " 2.5 "	
変電所等における防火対策指針 (注水式消火設備)	変圧器事故により破損炎上の恐れのある部分	10L/min・㎡以上	公共の消防機関の消防活動開始までの時間を考慮して決定する
NFPA 15-1996	可燃物及び可燃性液体の消火 ケーブルの消火 一般可燃物の延焼防止 構造物及び装置の延焼防止 変圧器及びベルトコンベアの延焼防止	8.1~20.4L/min・㎡以上 6.1 " 2.0 " 4.1~10.2 " 10.2 "	

規格に規定される散水量

規格・基準	設置対象物	散水量 (L/㎡・min)	
		消火	防火
消防法	指定可燃物 自動車駐車場 危険物施設	10~ 20~ 30~	— — —
損保規則		20~	10~
NFPA (1996)	可燃性固体 引火性液体 ケーブル ストラクチャ トランス コンベヤ	8~20 8~20 6~	— 20~ 14~ 6~12 12~ 12~
コンビナート等保安規則	特定反応設備 その他の設備	— —	7~ 5~
液化石油ガス保安規則	液化ガス貯蔵	—	2~8

目的に応じた水噴霧量

出火予防	5 L/min/㎡以上
延焼防止	8~10 L/min/㎡以上
火勢抑制	20 L/min/㎡以上
消火	8~20 L/min/㎡以上